

自治体ご担当者様 各位

株式会社イノベーションプラス
代表取締役 小坂武史

スマートフォンアプリの「**地産地消**」を実現する
【**地域独自のアプリケーションマーケット**】構築・運用支援事業を開始

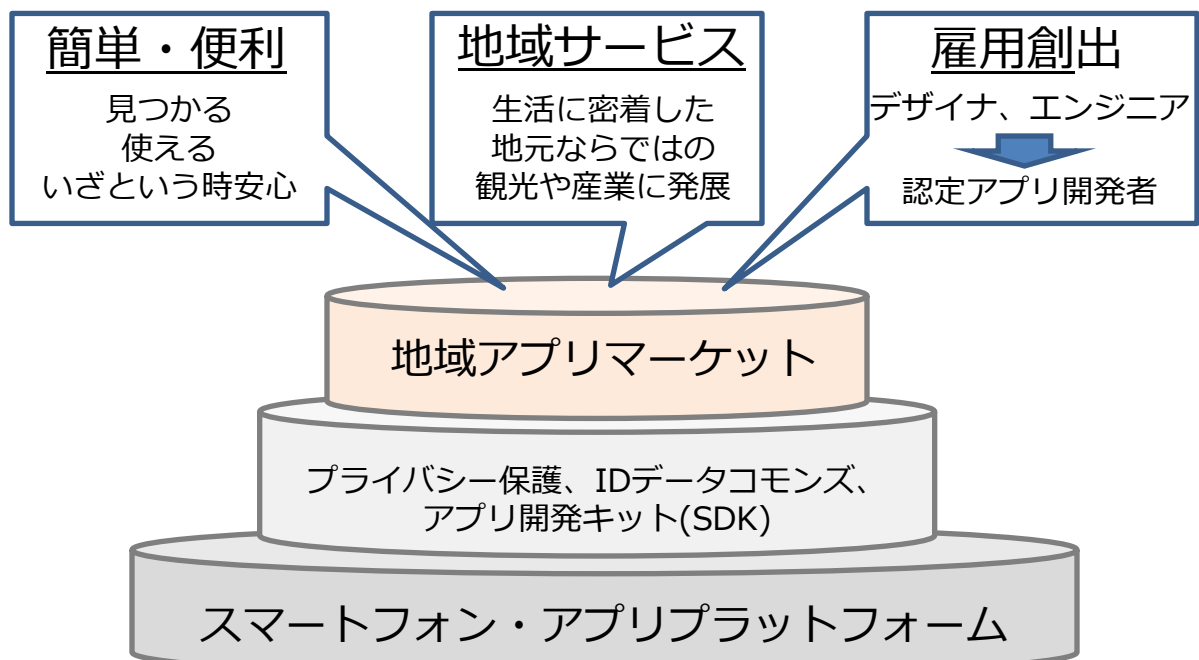
本格的なスマートフォン時代を迎えたいま、数多くのアプリが世界中から提供されています。確かに、特定のアプリが特定のユーザに活用されていますが、ほとんどのユーザは、アプリに登録した個人情報、ID・パスワードさえ管理できない等の問題を抱え、うまく活用できていないのが実態です。

その中で弊社は、「簡単・便利」に活用できるアプリ・サービスの提供を目的とした「スマートフォン向けアプリ開発プラットフォーム」を構築し、プライバシー保護対策、IDやログデータ分析等の実証実験と、学生を中心とするアプリ開発者人材育成を行ってまいりました。

このプラットフォームを自治体様が、地域のための「地域独自のアプリケーションマーケット」として、ご活用され、地元の人材で運用できるよう、サービスの企画・設計から、人材教育まで、幅広く支援致します。

本プラットフォームは、情報・システム研究機構 新領域融合研究センター・国立情報学研究所 (研究代表：曾根原 登)と共同企画・開発しました。

地域独自のアプリケーションマーケット（以下、地域アプリマーケット）とは「**地域の情報・サービスは、地域の人が、地域の人々の為に創って運用する。**」をコンセプトに「**自治体様公認アプリ**」として、日常生活の中で、楽しく、便利に使い、更に非常時にも、地域の人々に役立つアプリを提供が出来るよう**フルサポート**します。



■ 目的

- ・ **だれでも**（ICTリテラシーに関係なく）使えるサービスの提供
- ・ スマートフォンアプリでの**地域サービス**の構築
- ・ 地域のサービスは、地元の人の手で創り、運用する（**雇用機会の創出**）
- ・ 日常、非日常でも使えて、役立つサービスを提供（**防災・減災対策**）

■ 特徴

- 1) 弊社の提供するプラットフォーム活用することで、大規模なICTシステムを独自に構築・運用する必要がない
- 2) 地域と連動・連携するサービスモデル、必要となる関連サービスをも提案する。
- 3) プライバシー保護を考慮した個人情報管理（**IDデータコモンズ**）を採用。
- 4) アプリはプラットフォームが提供する**共通IDの利用によりアプリ間連携**を実現。
- 3) 蓄積された利用ログデータを統合して分析（**データマイニング**）可能
- 5) アプリ開発者へ**アプリ開発キット**(SDK)を提供し、**大学等教育機関と連携・協力したアプリ開発人材育成**に貢献

■ 自治体様のメリット

- ◎自治体様独自の「**地域アプリマーケット**」を構築・展開できる
地域で生産（アプリ開発）され、地域で消費（展開・運用）されるICTサービス
- ◎弊社のプラットフォームを利用することで**システム運用の手間・費用軽減**
- ◎**雇用創出**（アプリ開発者の人材育成・関連サービスの創出）

■ 住民の皆様のメリット

- ・ 日常：便利で地域に密着したアプリが簡単に見つかる、利用できる
(例)
 - ・ 住民の便利アプリ（天気等の地域情報発信）
 - ・ 住民の**健康管理**・ヘルスケアアプリ
 - ・ **観光産業支援アプリ**（GPS等の地理情報連携） 等
- ・ 非常：身に危険が生じた際でも使えるアプリがある。
(例)
 - ・ 家族やかかりつけの病院、自治体施設に**緊急連絡**するアプリ
 - ・ **休日外来病院紹介**アプリ
 - ・ 災害対策アプリ（**安否確認**や**避難指示**）
 - ・ バイタルデータや投薬情報などによる**救急対策**アプリ 等

スマートフォン時代のイノベーション創出情報通信基盤 ID-ECOシステム & サービス開発プラットフォーム

「Innovation+」

2013年春、スマートフォンアプリ向け「ID-ECOシステム& サービス開発プラットフォーム」をNIIと共同で構築し、「Innovation+」としてサービスを開始しました。日々の生活に役立つアプリが、自然災害時には避難誘導・安否確認に転換する等、緊急時にも社会や利用者貢献する情報サービスの構築・運用支援を展開しております。

サービス開発プラットフォームの特徴

・ CommonIDによるサービス横断的なログデータの活用

ユーザの利用履歴・IDデータは一元管理されるので、ユーザは、アプリごとに個人情報やID情報を登録することなくスムーズに活用できます。

・ 信頼度の高いデータの収集・分析が可能

CommonIDを基に複数のアプリ・サービスからなる利用履歴、ID情報であるため、利用者数、回数、期間、頻度、サービス形態(ゲーム・決済)が増大することで、データの重みづけやノイズデータを除去したデータ解析が可能です。

・ 緊急時のライフラインとしての活用

災害時に非難誘導や安否確認等で必要となる情報を本分析データから提供します。

・ IDデータコモンズ対応

国立情報学研究所 曾根原 登 教授が提唱する
「ライフログ利活用のためのIDデータコモンズ基盤」を採用しました。
(詳細は研究資料参照)

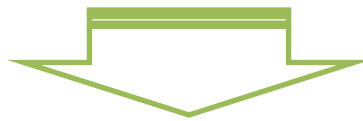
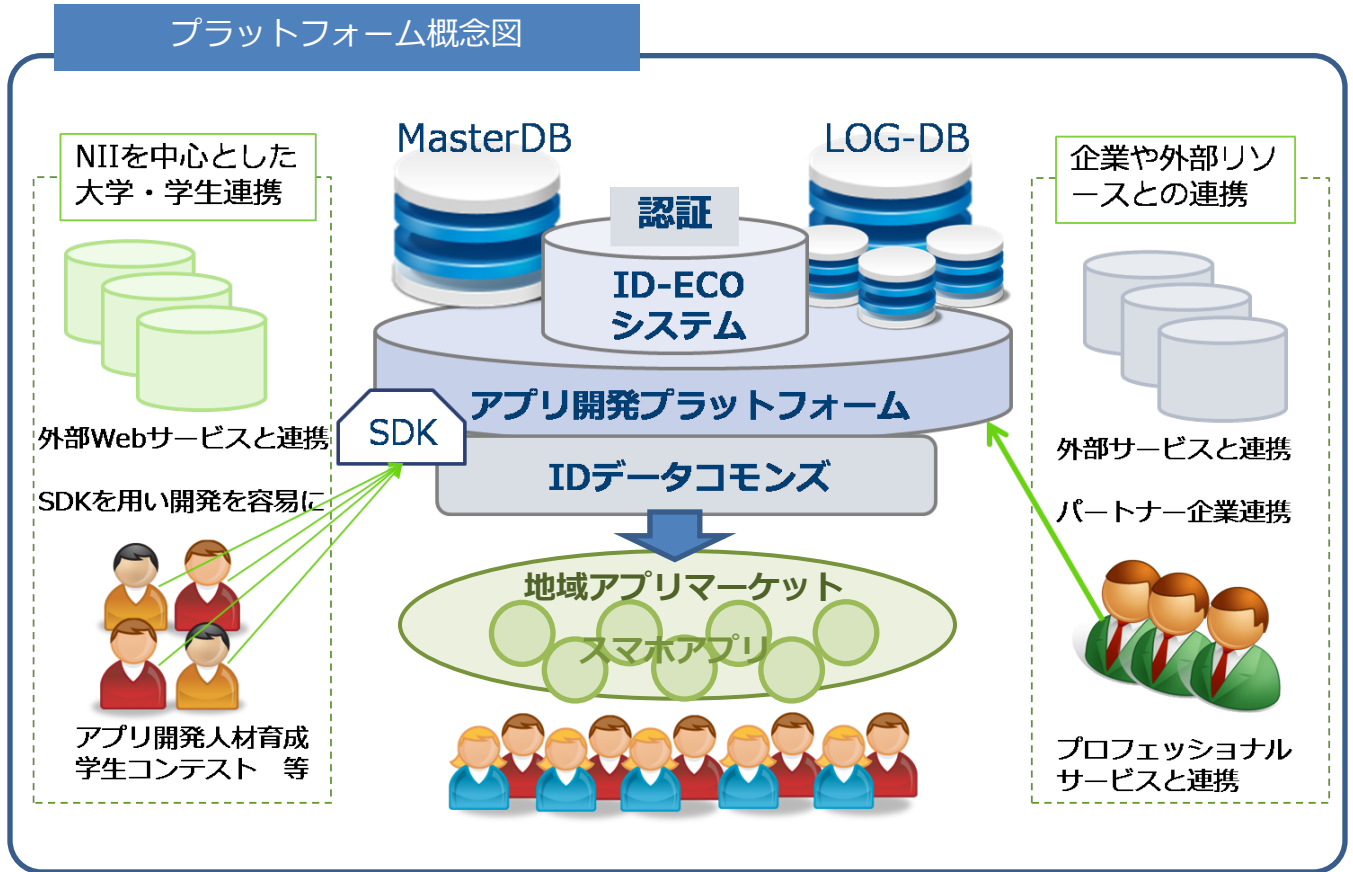
・ 地域・大学・学生との連携ならびにアプリ開発人材育成

地域と大学・学生が連携し、イノベーションを誘発する学術研究・実証実験や地の利のある学生のアイデアを取り入れた「スマホアプリ開発コンテスト」等、アプリ開発関連の人材育成に貢献しています。

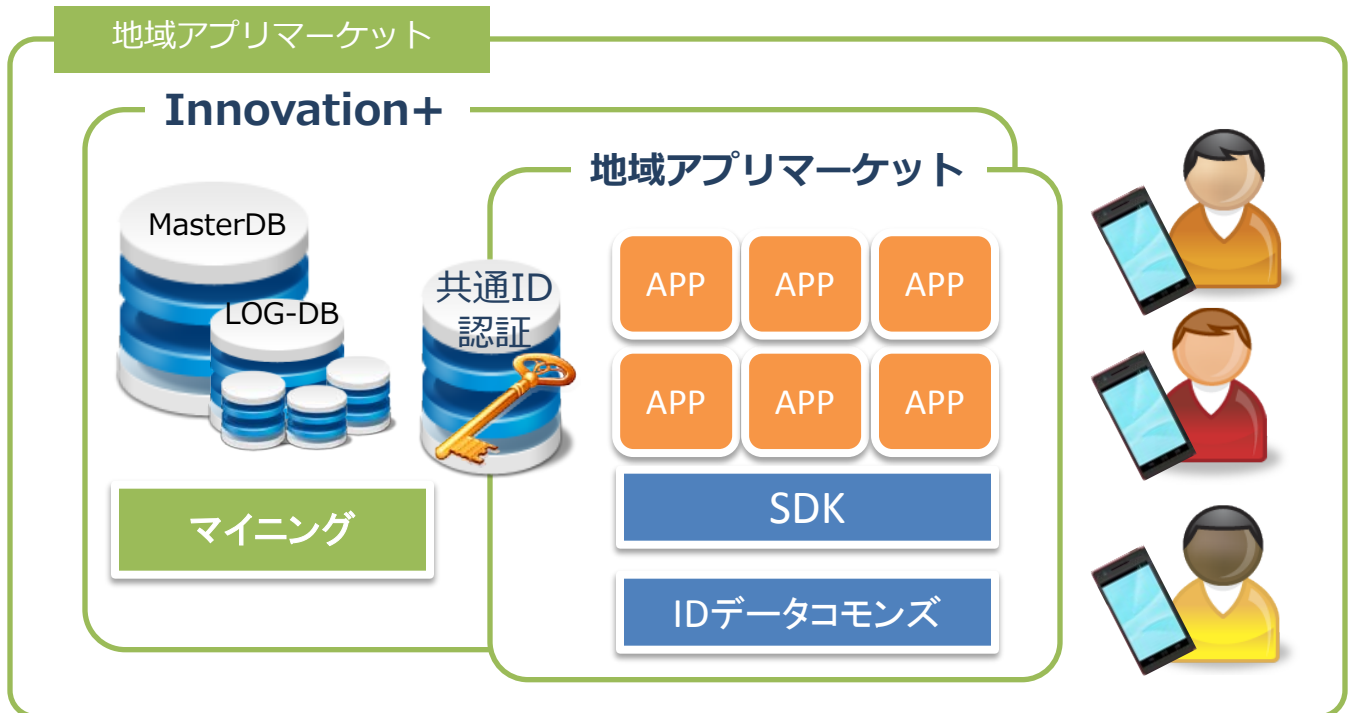
汎用アプリケーション(予定)

- ・ バーチャルコミュニケーションアプリ (ALOHA)
- ・ 日記・カレンダー・家計簿の複合機能アプリ (MY-LifeLog)
- ・ お薬手帳アプリ (OKUSURI)
- ・ 非常時救急依頼アプリ(QQ-PUSH)

プラットフォーム概念図



地域アプリマーケット



INNOVATION PLUS

会社概要

社名	株式会社イノベーションプラス
所在地	〒107-0061 東京都港区北青山1-2-3 青山ビル12階
設立	2007年2月13日
資本金	2800万円
役員	代表取締役 小坂 武史
業務領域	<ul style="list-style-type: none">・スマートフォン・スマートタブレットを活用した事業開発・スマートフォン・スマートタブレット事業コンサルティング・Mobileソリューション事業 新規サービス・ソリューションの開発・販売 NFC関連事業・システムの構築・MVNE事業 MVNOを検討している企業にコンサルティング

本件に関するお問い合わせ先

株式会社イノベーションプラス
新規事業推進グループ

TEL: 03-6663-8956

Mail: info@innovationplus.jp

<http://www.innovationplus.jp/>